

(様式第10)

奈医病管第91号

令和 4年 10月 31日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長 細井 裕司

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地
氏名	公立大学法人奈良県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

奈良県立医科大学附属病院
--------------

3 所在の場所

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地
電話(0744)22-3051

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「呼吸器内科」「血液内科」「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は呼吸器・アレルギー・血液内科で、「消化器内科」「代謝内科」の診療内容は消化器・代謝内科で、「内分泌内科」の診療内容は糖尿病・内分泌内科で、「神経内科」の診療内容は脳神経内科で、「感染症内科」の診療内容は「感染制御内科」で、「リウマチ科」の診療内容は整形外科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				無			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
「消化器外科」「乳腺外科」「小児外科」の診療内容は消化器外科・小児外科・乳腺外科で、「内分泌外科」の診療内容は耳鼻咽喉・頭頸部外科で提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				無			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
通常の歯科診療内容は歯科口腔外科で提供している。							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	感染制御内科	2	消化器・代謝内科	3	呼吸器・アレルギー・血液内科	4	脳神経内科	5	消化器外科・小児外科・乳腺外科
6	耳鼻咽喉・頭頸部外科	7	形成外科	8	病理診断科	9	リハビリテーション科	10	糖尿病・内分泌内科
11	腫瘍内科	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
108	9	0	0	875	992	(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	623	52.2	675.2
歯科医師	20	4.8	24.8
薬剤師	65	8.6	73.6
保健師	0	0.5	0.5
助産師	66	0.0	66.0
看護師	1056	16.6	1072.6
准看護師	1	0.0	1.0
歯科衛生士	6	0.9	6.9
管理栄養士	10	3.5	13.5

職種	員数
看護補助者	41
理学療法士	32
作業療法士	11
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	41
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	60

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	91
	衛生検査技師	0
	その他	1
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	33	
その他の技術員	24	
事務職員	253	
その他の職員	8	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	61	眼科専門医	13
外科専門医	59	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	16	放射線科専門医	30
小児科専門医	21	脳神経外科専門医	22
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	39
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	27
産婦人科専門医	16	救急科専門医	24
		合計	361

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (吉川 公彦) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	587.1 人	12.8 人	599.9 人
1日当たり平均外来患者数	2151.5 人	105.7 人	2257.2 人
1日当たり平均調剤数			4095.9 剤
必要医師数			179 人
必要歯科医師数			8 人
必要薬剤師数			20.0 人
必要(准)看護師数			376.0 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	心電計	心細動除去装置
集中治療室	579.06 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	24 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	263.6 m <sup>2</sup>	病床数	21 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	67.9 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	194.6 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	尿検査システム等		
細菌検査室	174.1 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析システム等		
病理検査室	176.7 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体搬送システム等		
病理解剖室	266.2 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動解剖ノコクリーンカットシステム等		
研究室	1589.4 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	各種 実験・研究装置等		
講義室	460.4 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	317 人
図書室	1303.1 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数	143,497 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	94.4 %	逆紹介率	93.4 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数	17,316 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	20,191 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,088 人	
	D: 初診の患者の数	21,599 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学 附属病院医療安全推 進室長であり、医療に かかる安全に関する見 識を有するため。□	無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験 が豊富であり、法律に 関する見識を有するた め。	無	1
松井 忠昭	ボランティアグルー プ ラポール		病院の状況への理解 が深く、医療を受ける側 の立場からの客観的意 見を得られるため。	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページでの公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
血中TARC濃度の迅速測定	0
MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	18
先進医療の種類合計数	2
取り扱い患者数の合計(人)	18

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
パクリタキセル静脈内投与(1週間に1回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(3週間に1回投与するものに限る)の併用療法	0
マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん(ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	0
ボツリヌス毒素の膀胱内局所注入療法	0
先進医療の種類合計	3
取扱い患者数合計(人)	0

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 提供実績なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	35
2	筋萎縮性側索硬化症	35	57	特発性拡張型心筋症	86
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	32
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	18	60	再生不良性貧血	35
6	パーキンソン病	289	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	10	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	9	63	特発性血小板減少性紫斑病	53
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	92	66	IgA 腎症	136
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	54
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	94	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20	69	後縦靱帯骨化症	53
15	封入体筋炎	6	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	70
17	多系統萎縮症	26	72	下垂体性ADH分泌異常症	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	76	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	13
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	8	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	34	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	112
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	43	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	56
30	遠位型ミオパチー	4	85	特発性間質性肺炎	36
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	21
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7
34	神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	14	90	網膜色素変性症	14
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	15	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	89
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	10
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	23
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	74
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	201
43	顕微鏡的多発血管炎	66	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	16	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	193	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	119	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	80	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	25	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	37	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	16	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	39	163	特発性後天性全身性無汗症	11
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	2
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	4	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	3
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳	0	174	那須・ハコラ病	1
125	動脈症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	性白質脳症	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ペリー症候群	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	前頭側頭葉変性症	3	179	ウィリアムズ症候群	0
130	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	180	ATR-X症候群	0
131	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性無痛無汗症	0	182	アペール症候群	0
133	アレキサンダー病	0	183	ファイファー症候群	0
134	先天性核上性球麻痺	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	メビウス症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	アイカルティ症候群	0	187	歌舞伎症候群	0
138	片側巨脳症	0	188	多脾症候群	0
139	限局性皮質異形成	1	189	無脾症候群	0
140	神経細胞移動異常症	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	先天性大脳白質形成不全症	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ドラベ症候群	0	192	コケイン症候群	0
143	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	ミオクロニー欠神てんかん	1	194	ソトス症候群	0
145	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	195	ヌーナン症候群	0
146	レノックス・ガスター症候群	2	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	ウエスト症候群	2	197	1p36欠失症候群	0
148	大田原症候群	0	198	4p欠失症候群	0
149	早期ミオクロニー脳症	0	199	5p欠失症候群	0
150	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	環状20番染色体症候群	1	202	スミス・マギニス症候群	0
153	ラスマッセン脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	PCDH19関連症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
155	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	206	脆弱X症候群	0
157	ランドウ・クレフナー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	レット症候群	0	208	修正大血管転位症	0
159	スタージ・ウェーバー症候群	1	209	完全大血管転位症	1
160	結節性硬化症	3	210	単心室症	1
161	色素性乾皮症	1			
162	先天性魚鱗癬	2			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無 $\beta$ リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	1
221	抗糸球体基底膜腎炎	4	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	90	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	5	271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	12	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	5	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	3	283	後天性赤芽球癆	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	3	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	25
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	2
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	5

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

### 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	2
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	5
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

取扱疾患件数	137
患者数計	3,081

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
特定機能病院入院基本料	ハイリスク分娩管理加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
歯科外来診療環境体制加算2	病棟薬剤業務実施加算1及び2
歯科診療特別対応連携加算	データ提出加算2
救急医療管理加算	入退院支援加算1(一般病棟) 入院時支援加算、地域連携診療計画加算、総合機能評価加算有
超急性期脳卒中加算	認知症ケア加算1
診療録管理体制加算2	せん妄ハイリスク患者ケア加算
医師事務作業補助体制加算1 30対1	精神疾患診療体制加算
25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満)	排尿自立支援加算
看護職員夜間配置加算1 12対1	地域医療体制確保加算
看護補助加算3(D2病棟のみ)	救命救急入院料3及び4
療養環境加算	特定集中治療室管理料1 早期離床・リハビリテーション加算有
重症者等療養環境特別加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
無菌治療室管理加算1及び2	総合周産期特定集中治療室管理料
緩和ケア診療加算	新生児治療回復室入院医療管理料
精神科応急入院施設管理加算	一類感染症患者入院医療管理料
精神病棟入院時医学管理加算	小児入院医療管理料1
精神科身体合併症管理加算	精神科救急入院料1 看護職員夜間配置加算有
精神科リエゾンチーム加算	精神科救急・合併症入院料 看護職員夜間配置加算有
摂食障害入院医療管理加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1 抗菌薬適正使用支援加算・地域連携加算有	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	在宅患者訪問看護・指導料(緩和ケア・褥瘡ケア・人工肛門ケア及び人工膀胱ケア)
遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
糖尿病合併症管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ及びニ	持続血糖測定器加算1及び2
外来緩和ケア管理料	骨髄微小残存病変量測定
移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	BRCA1/2遺伝子検査
糖尿病透析予防指導管理料	がんゲノムプロファイリング検査
小児運動器疾患指導管理料	先天性代謝異常症検査
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
婦人科特定疾患治療管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
腎代替療法指導管理料	検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(IV)
外来放射線照射診療料	国際標準検査管理加算
療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	遺伝カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
がん治療連携計画策定料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
外来排尿自立指導料	胎児心エコー法
肝炎インターフェロン治療計画料	ヘッドアップティルト試験
ハイリスク妊産婦連携指導料1	人工臓臓検査
ハイリスク妊産婦連携指導料2	皮下連続式グルコース測定
薬剤管理指導料	長期継続頭蓋内脳波検査
医療機器安全管理料1	長期脳波ビデオ同時記録検査1
医療機器安全管理料2	単線維筋電図
医療機器安全管理料(歯科)	光トポグラフィー
精神科退院時共同指導料1、精神科退院時共同指導料2	終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)
総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	脳波検査判断料1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
神経学的検査	通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)
補聴器適合検査	救急患者精神科継続支援料
ロービジョン検査判断料	認知療法・認知行動療法1
小児食物アレルギー負荷検査	精神科作業療法
内服・点滴誘発試験	精神科ショート・ケア(大規模)(小規模)
センチネルリンパ節生検(片側)	精神科デイ・ケア(大規模)(小規模)
経気管支凍結生検法	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	医療保護入院等診療料
精密触覚機能検査	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
画像診断管理加算1	硬膜外自家血注入
画像診断管理加算2	エタノールの局所注入(甲状腺)、エタノールの局所注入(副甲状腺)
遠隔画像診断	人工腎臓、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	人工膵臓療法
CT撮影及びMRI撮影	CAD/CAM冠
冠動脈CT撮影加算、血流予備量比コンピューター断層撮影及び外傷全身CT加算	有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
心臓MRI撮影加算、乳房MRI撮影加算、小児鎮静下MRI撮影加算	皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算算定する場合に限る。)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	皮膚移植術(死体)
外来化学療法加算1	組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
無菌製剤処理料	処理骨再建加算
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
運動器リハビリテーション料(I)	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
呼吸器リハビリテーション料(I)	椎間板内酵素注入療法
がん患者リハビリテーション料	脳腫瘍覚醒下マッピング加算
歯科口腔リハビリテーション料2	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)、脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
人工中耳植込術及び人工内耳植込術	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(共に歯科診療)	腹腔鏡下肝切除術
顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るもの)	生体部分肝移植術
乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
内視鏡下筋層切開術	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)等	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経カテーテル大動脈弁置換術	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的中隔心筋焼灼術	同種死体腎移植術
ペースメーカー移植術及び交換術、ペースメーカー移植術及び交換術(リードレスペースメーカーによるもの)	生体腎移植術
両心室ペースメーカー移植術、両心室ペースメーカー交換術	膀胱水圧拡張術
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	人工尿道括約筋植込・置換術
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
補助人工心臓	腹腔鏡下仙骨腫固定術
経皮的下肢動脈形成術	腹腔鏡下仙骨腫固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がん)(子宮頸がん)



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	歯科矯正診断料
胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術	
遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術	
輸血管理料Ⅰ及び貯血式自己血輸血管理体制加算	
自己生体組織接着剤作成術	
同種クリオプレシピレート作製術	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
麻酔管理料(Ⅰ)、麻酔管理料(Ⅱ)	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
高エネルギー放射線治療	
1回線量増加加算	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
定位放射線治療及び定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
画像誘導密封小線源治療加算	
保険医療機関間の連携による病理診断	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	
デジタル病理画像による病理診断	
病理診断管理加算2、口腔病理診断管理加算2	
悪性腫瘍病理組織標本加算	
クラウン・ブリッジ維持管理料	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
前立腺針生検法 MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね週1回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	13
	剖検率(%)	3

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高LET放射線と抗VEGF抗体の併用によるグリオーマ幹細胞制御機構の解明	長谷川 正俊	放射線腫瘍医学	2,700,000	補	文部科学省
慢性腎臓病に合併する心不全発症におけるアフターロードミスマッチの分子機序の解明	斎藤 能彦	循環器内科学	3,900,000	補	文部科学省
難治性消化器癌に対する治療抵抗性克服による新規集学的免疫治療戦略の開発	庄 雅之	消化器・総合外科学	2,600,000	補	文部科学省
小児期栄養環境が形づくる髄鞘構造とその精神症状への効果の検討	牧之段 学	精神医学	4,000,000	補	文部科学省
末梢血循環癌細胞(CTC)のLiquid biopsy標的としての含意探索	澤端 章好	胸部・心臓血管外科学	4,800,000	補	文部科学省
自閉スペクトラム症におけるM2マクロファージ機能不全に着目した病態解明	山内 崇平	精神医学	1,200,000	補	文部科学省
胸部大動脈人工血管置換術中のレーザースペックルフローグラフィによる眼血流測定	林 浩伸	麻酔科学	300,000	補	文部科学省
顎顔面の形態発生を制御する新規シグナル伝達機構	川上 正良	口腔外科学	600,000	補	文部科学省
骨転移を有する長期生存がん患者・悪性骨腫瘍患者の身体活動量維持プログラムの開発	城戸 顕	リハビリテーション医学	700,000	補	文部科学省
クリニカルシーケンスにて同定される新規遺伝子変異の機能解析	武田 真幸	がんゲノム・腫瘍内科学	600,000	補	文部科学省
ヒト脳オルガノイドを用いた神経変性疾患を引き起こすリポート病の病態解析	桐山 敬生	脳神経内科学	1,000,000	補	文部科学省
マクロファージとヒトIPSニューロン共培養系による統合失調症・ASD病態解析	鳥塚 通弘	精神医学	900,000	補	文部科学省
社会的隔離モデルによる社会性の神経回路の同定 内側前頭前野―橋―小脳を中心に	芳野 浩樹	精神医学	1,200,000	補	文部科学省
肝細胞癌TACEにおける多孔性ガラス膜新規乳化デバイスの製品化に向けた開発	正田 哲也	放射線診断・IVR学	1,200,000	補	文部科学省
凝固線溶バランスを基盤とした小児がん血栓症に対する新規テーラード治療の確立	石原 卓	小児科学	1,100,000	補	文部科学省
肺線維症患者に対する間葉系幹細胞療法の臨床応用を目指した有効な新規マーカーの探索	熊本 牧子	呼吸器内科学	700,000	補	文部科学省
T細胞不活化経路をターゲットとした腫瘍免疫療法と抗腫瘍薬を併用した新規治療の開発	北東 大督	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
肛門病変検体を用いたT細胞不活化によるクローン病新規免疫療法探索	久下 博之	消化器・総合外科学	700,000	補	文部科学省
敗血症における原因菌の迅速同定技術の開発	川井 廉之	救急医学	1,100,000	補	文部科学省
間葉系幹細胞シートを用いた神経束移植における新規治療法の確立	田中 康仁	整形外科	800,000	補	文部科学省
MRスペクトロスコピーを用いて子宮内膜症の悪性を早期に予測する新規検査法の確立	吉元 千陽	産婦人科学	900,000	補	文部科学省
妊娠高血圧症候群の胎盤形成におけるインプリンティング遺伝子の関与	常見 泰平	産婦人科学	1,000,000	補	文部科学省
Danger Signal抑制によるHDP悪化遅延と新生児周産期予後の改善	成瀬 勝彦	産婦人科学	1,100,000	補	文部科学省
ABRを用いた新しい軟骨伝導補聴器の装着効果評価法	森本 千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,400,000	補	文部科学省
下肢足圧の中心動揺と荷重量による定量的体平衡検査法の開発	山中 敏彰	めまいセンター	600,000	補	文部科学省

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	文部科学省
緑内障が生体リズムへ与える影響の検討	吉川 匡宣	眼科学	900,000	補	文部科学省
DNA修復経路と細胞内物質輸送を標的とした口腔がん治療法の開発	桐田 忠昭	口腔外科学	800,000	補	文部科学省
帝王切開術における選択的・個別的な肺血栓塞栓症予防効果の検証と医療経済的評価	川口 龍二	産婦人科学	900,000	補	文部科学省
ナノテクノロジーと分子イメージング技術を融合させた新規IVR治療の開発	西尾福 英之	放射線診断・IVR学	1,100,000	補	文部科学省
冠動脈石灰化結節の進行を予測する冠動脈プラークおよびリン代謝バイオマーカーの同定	渡邊 真言	循環器内科学	1,300,000	補	文部科学省
循環器疾患に合併する後天性フォンウィレブランド症候群の診断法・治療戦略の構築	早川 正樹	輸血部	1,100,000	補	文部科学省
ヒト肺炎腫における肺修復機構をCT画像とマウス実験により評価する手法の確立	室 繁郎	呼吸器内科学	900,000	補	文部科学省
活性化プロテインCおよびプロテインS制御による安定化第VIII因子製剤の開発	武山 雅博	小児科学	1,000,000	補	文部科学省
再生医療工学を応用した新しい潰瘍性大腸炎手術の開発	小山 文一	中央内視鏡部	800,000	補	文部科学省
CD36発現解析による新規肝癌運動介入療法の開発	赤堀 宇広	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
プレハビリテーションによる脳虚血後の高次脳機能障害の予防及びその機序に関する研究	恵川 淳二	集中治療部	900,000	補	文部科学省
直腸癌手術における電極付き尿道カテーテルを用いた術中排尿機能モニタリングの検討	阿部 龍一	中央手術部	1,000,000	補	文部科学省
麻酔関連薬剤の血管内皮グリコカリクスに対する影響および保護物質の検討	西和田 忠	中央手術部	800,000	補	文部科学省
膠芽腫に対するNK細胞と新たな免疫チェックポイント阻害の併用療法の開発	松田 良介	脳神経外科学	1,400,000	補	文部科学省
骨形成細胞シートと生体内誘導骨形成膜の融合による新規骨再生研究	河村 健二	玉井進記念四肢外傷センター	1,100,000	補	文部科学省
腎細胞癌に対する5-アミノレブリン酸によるミトコンドリア内鉄利用による抗腫瘍効果	中井 靖	泌尿器科学	200,000	補	文部科学省
3次元病理診断による潜在的な高悪性度甲状腺癌の抽出	清水 直樹	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,200,000	補	文部科学省
前庭リハビリテーションが静的動的前庭代償に与える効果の基礎医学的エビデンス構築	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	900,000	補	文部科学省
定量評価に基づく顎骨再建シミュレーションと高精度手術デバイスの開発	上田 順宏	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
上部消化管手術後の消化管運動および栄養状態と咀嚼力の関連性	松本 壮平	消化器・総合外科学	1,000,000	補	文部科学省
関節リウマチを含む変形性膝関節症の発症メカニズム解明と治療法開発	高木 都	整形外科	1,300,000	補	文部科学省
浸潤性膀胱癌に特異的に発現するマイクロRNAおよび分化マーカーの発現機序の解明	藤井 智美	病理診断学	1,600,000	補	文部科学省
ナノDDSを応用した腎毒性を低減できる新規コード造影剤の開発と体内動態の解明	越智 朋子	放射線診断・IVR学	2,000,000	補	文部科学省
腫瘍内微小環境を考慮したエマルジョンを用いた新規カテーテル治療の開発	田中 利洋	放射線診断・IVR学	600,000	補	文部科学省
放射線障害に関わる遅発性活性酸素と核外シグナルの機構解明	菓子野 元郎	RI実験施設	1,400,000	補	文部科学省

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
血友病Aインヒビター産生応答を制御する脾臓免疫ニッチの同定	小田 朗永	小児科学	1,000,000	補	文部科学省
Drug RepositioningとLeaky Gut制御による新規肝硬変治療	吉治 仁志	消化器内科学	1,200,000	補	文部科学省
独自の遺伝子パネル作成によるトリプルネガティブ乳癌の革新的免疫併用治療戦略の構築	池田 直也	乳腺センター	1,300,000	補	文部科学省
陰部テタヌス刺激による小児術中MEP増幅法の開発	本山 靖	脳神経外科学	1,400,000	補	文部科学省
液体窒素処理による切断肢の長期凍結保存と再接着に関する実験研究	岡田 博	救急医学	1,100,000	補	文部科学省
足部・足関節周囲の筋腱モーメントアームが3次元動態に及ぼす影響の検討	宮本 拓馬	玉井進記念四肢外傷センター	1,000,000	補	文部科学省
骨導超音波を用いた人工内耳のための新しい術前聴力検査の開発	岡安 唯	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,100,000	補	文部科学省
微小動揺を指標としてインプラントの免荷期間を再検証する	堀田 聡	口腔外科学	1,700,000	補	文部科学省
埋入トルク値がインプラント周囲骨の長期安定性に及ぼす影響および適正トルク値の解明	杉浦 勉	口腔外科学	1,100,000	補	文部科学省
PXDNIによるがん代謝と微小環境を標的とした口腔癌の治療ストラテジー	栗原 都	口腔外科学	1,400,000	補	文部科学省
光バイオプシーとリキッドバイオプシーを用いた口腔癌の早期診断システムの開発	松末 友美子	口腔外科学	900,000	補	文部科学省
薬剤関連顎骨壊死の発症メカニズムの解明と新規予防法/治療法の開発	柳生 貴裕	口腔外科学	1,100,000	補	文部科学省
抗claudin-4抗体による口腔癌に対する化学療法への増強効果	山本 一彦	口腔外科学	1,400,000	補	文部科学省
歯周病と慢性肝疾患病態の関連解明—新たな肝疾患進展予防施策の探索	赤羽 たけみ	消化器内科学	1,900,000	補	文部科学省
糖尿病患者の治療意欲を引き出す新たな行動変容促進アプローチの開発	毛利 貴子	糖尿病・内分泌内科学	1,000,000	補	文部科学省
高機能自閉症者に適した低強度運動プログラムの効果検証	松田 康裕	精神医学	1,300,000	補	文部科学省
川崎病の病態・合併症におけるVWF-ADAMTS13軸の解明及び新規治療薬の開発	辻井 信之	小児科学	800,000	補	文部科学省
新規抗動脈硬化因子可溶性Fit-1による腎硬化症の発症機序解明と臨床的展開	松井 勝	腎臓内科学	500,000	補	文部科学省
間葉系幹細胞シートと組織移植を融合させたハイブリッド型自家神経作成の試み	清水 隆昌	整形外科	800,000	補	文部科学省
ロールシャッハテストと唾液中ストレスバイオマーカーによるARMSの同定法の検討	岸本 直子	精神医学	1,300,000	補	文部科学省
平坦型尿路上皮腫瘍の鑑別に有用なマイクロRNAおよび関連分子の発現機序の解明	森田 剛平	病理診断学	600,000	補	文部科学省
自閉スペクトラム症のPTSD様症状の神経基盤に関する研究	北村 聡一郎	精神医学	400,000	補	文部科学省
血友病A治療におけるインヒビター発生抑制を標的とした新規第VIII因子製剤の開発	古川 晶子	小児科学	1,000,000	補	文部科学省
血液凝固因子であるVWFを用いた肝細胞癌新規治療法と新規バイオマーカーの開発	高谷 広章	消化器内科学	1,100,000	補	文部科学省
肝内胆管癌に対するNOTCH/YAP経路のクロストーク制御を介する新規治療の開発	才川 宗一郎	消化器内科学	500,000	補	文部科学省

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
呼吸波形解析を活用してCOPDの呼吸困難を読み解く—新たな呼吸法開発を目指して—	藤田 幸男	呼吸器内科学	600,000	補	文部科学省
薬剤性過敏症候群発症後にヒトヘルペスウイルス6の持続感染をきたした症例の検討	西村 友紀	皮膚科学	900,000	補	文部科学省
ADAMTS13関連因子を軸とした肝虚血再灌流障害に対する新規治療戦略	吉川 高宏	消化器・総合外科学	1,300,000	補	文部科学省
全身麻酔下のVEPモニタリングにおける振幅低下時の最適警告基準の検討	植村 景子	中央手術部	800,000	補	文部科学省
メンブレントラフィックに着目した新たな疼痛メカニズムの解明	寺田 雄紀	麻酔科学	800,000	補	文部科学省
めまい平衡リハビリの客観的評価法の確立と効果的なリハビリプログラム開発への応用	塩崎 智之	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	400,000	補	文部科学省
幼少期社会経験が構築する前頭葉—視床室傍核回路の解明	山室 和彦	精神医学	900,000	補	文部科学省
脊髄離断モデルラットに対する骨髄間葉系幹細胞シート移植における移植時期の検討	増田 佳亮	整形外科	800,000	補	文部科学省
筋萎縮性側索硬化症における液-液相分離制御シヤペロンの機能解析	七浦 仁紀	脳神経内科学	1,600,000	補	文部科学省
ヒト脳オルガノイドを用いた難治性中枢神経疾患の病態解明	江浦 信之	脳神経内科学	1,000,000	補	文部科学省
成人期自閉スペクトラム症における性差と逆境的小児期体験の影響の検討	岡崎 康輔	精神医学	700,000	補	文部科学省
マイクログリア由来BDNFが社会性に与える影響の解析	小森 崇史	精神医学	1,200,000	補	文部科学省
がん免疫逃避機構からみた肝動脈塞栓術後再発メカニズムの解明と、新規治療戦略の開発	松本 武士	放射線診断・IVR学	800,000	補	文部科学省
レンパチニブ投与後の肝癌の血流動態変化の解析とレンパチニブ先行TACEの機序解明	南口 貴世介	放射線診断・IVR学	1,700,000	補	文部科学省
進行肝細胞癌に対するレンパチニブ含浸ピーズを用いた新規IVR治療の開発	佐藤 健司	総合画像診断センター	1,600,000	補	文部科学省
ABPMおよびBIAを用いた、HFpEFの病態および治療開発にむけた研究	上田 友哉	循環器内科学	900,000	補	文部科学省
分子標的治療薬による皮膚障害発症機序の解明	御守 里絵	皮膚科学	1,000,000	補	文部科学省
インフルエンザウイルス感染重症化におけるヒストン修飾酵素SETDB2の機能解明	今北 菜津子	感染症センター	1,100,000	補	文部科学省
骨髄幹細胞移植と血球除去療法併用による難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の開発	定光 ともみ	消化器・総合外科学	800,000	補	文部科学省
Cullin4Aを介した食道癌の進展機序の包括的解明と新規治療戦略の開発	中出 裕士	消化器・総合外科学	1,200,000	補	文部科学省
胆膵癌におけるCD200発現の意義の解明と治療抵抗性を標的とした新規治療法の開発	中川 顕志	消化器・総合外科学	1,600,000	補	文部科学省
消化器癌進展におけるCBLC発現の包括的解明	宮尾 晋太郎	消化器・総合外科学	1,400,000	補	文部科学省
日本人生体腎移植レシピエントにおける腸内細菌叢と移植免疫の関連解析	堀 俊太	泌尿器科学	1,300,000	補	文部科学省
網膜色素上皮の色素産生能が加齢黄斑変性発症に与える役割	辻中 大生	眼科学	800,000	補	文部科学省
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死を予防する塩基性線維芽細胞増殖因子の作用機序解明	今田 光彦	口腔外科学	900,000	補	文部科学省

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
統合失調症者に対する運動課題と認知課題の多重課題プログラムCATの効果検証	木納 潤一	精神医学	200,000	補	文部科学省
虚弱者に対する身体活動量を指標とした新しい筋電気刺激EMS併用リハビリテーション	石田 由佳子	リハビリテーション医学	600,000	補	文部科学省
脳卒中運動麻痺に対する運動負荷を基盤とした脳内メカニズム解析	眞野 智生	リハビリテーション医学	800,000	補	文部科学省
腹部大動脈瘤に対するステント内挿術後のMRI画像におけるRadiomics解析	岩越 真一	放射線診断・IVR学	900,000	補	文部科学省
トモンセシスを用いた新たな大腸癌深達度診断法の確立	伊藤 高広	放射線診断・IVR学	700,000	補	文部科学省
NASHにおけるエンドキシンの腸管内吸着を介した肝発癌抑制治療の開発	辻 裕樹	消化器内科学	1,300,000	補	文部科学省
心不全患者の心筋組織を用いたβアドレナリン受容体遮断薬の治療反応性予測指標の探索	中野 知哉	循環器内科学	1,400,000	補	文部科学省
個別化治療を目指した網羅的解析による肺癌再発予測miRNAパネルの開発	西和田 敏	消化器・総合外科学	1,200,000	補	文部科学省
難治性小児固形癌に対する新たな免疫ターゲットの探索と治療法の開発	洲尾 昌伍	消化器・総合外科学	700,000	補	文部科学省
大腸癌肝転移におけるCD200を介した治療抵抗性獲得機構の解明と新規治療法の開発	松尾 泰子	消化器・総合外科学	1,300,000	補	文部科学省
肺癌治療抵抗性関連分子の発現制御による新規集学的治療戦略の開発	長井 美奈子	消化器・総合外科学	1,400,000	補	文部科学省
ユビキチン修飾系を標的とした新規消化器癌治療法の開発	國重 智裕	がんゲノム・腫瘍内科学	1,200,000	補	文部科学省
ヒト人工多能性幹細胞由来の骨形成細胞集合体を用いた再生医療の検討	岡村 建祐	整形外科	1,100,000	補	文部科学省
卵巣明細胞癌におけるARID1A変異に対するCCNE1の合成致死メカニズムの解明	河原 直紀	MFICU	1,300,000	補	文部科学省
味蕾の細胞増殖や維持、再生メカニズムの解明	高橋 佑佳	口腔外科学	1,500,000	補	文部科学省
前頭前野局所回路の数理モデル構築によるニューロモデュレーション作用機序の解明	山室 和彦	精神医学	2,900,000	補	文部科学省
慢性子宮内膜炎に対するラクトフェリンに着目した治療法開発	木村 文則	産婦人科学	700,000	補	文部科学省
特発性心筋症の診療に直結するエビデンス創出のためのAIを活用した自動病理診断システムの開発～希少・分類不能心筋症の自動抽出システムの開発～	尾上 健児	循環器内科学	3,477,500	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
早期ライフステージにおける前頭前野の髄鞘形成は社会性を制御するの？	牧之段 学	精神医学	8,818,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肝腎症候群の新たな病態解析と治療開発-血栓性微小血管障害に基づく機序と遺伝子組み換えADAMTS13療法-	吉治 仁志	消化器内科学	10,925,385	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	浅田 秀夫	皮膚科学	3,150,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳とこころの研究推進プログラム(領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト)	山室 和彦	精神医学	9,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
マルチオミクス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現	斎藤 能彦	循環器内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性心血管疾患におけるマルチオミクス解析による病態解明と精密医療	尾上 健児	循環器内科学	500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ゲノム分子病理解析による難治性心筋症における精密医療の実現	尾上 健児	循環器内科学	500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展	尾上 健児	循環器内科学	500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
DNA損傷応答・核形態の機械学習による心不全の予後・治療応答予測モデルの構築	尾上 健児	循環器内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
液-液相分離の制御と破綻に着目した筋萎縮性側索硬化症の分子機構解明	七浦 仁紀	脳神経内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	鶴屋 和彦	腎臓内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
HIV関連病態である血友病の豊かな未来を目指した画期的治療法・診断法の創出	野上 恵嗣	小児科学	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高ずり応力を伴う循環器疾患に随伴する消化管血管管異形成の形成・消退の実態解明	松本 雅則	輸血部	500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	吉治 仁志	消化器内科学	900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
免疫細胞による精神病理の操作を目指して	牧之段 学	精神医学	5,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化	斎藤 能彦	循環器内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新生児低酸素性虚血性脳症の生物学的マーカーの実用化に向けた臨床研究	榊原 崇文	小児科学	300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発	牧之段 学	精神医学	3,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	松本 雅則	輸血部	540,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた戦略的研究	浅田 秀夫	皮膚科学	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

小計 13

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計 138



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Matsuo Y, Nomi T, Hokuto D, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Pulmonary complications after laparoscopic liver resection.	Surg Endosc. 2021 Apr; 35(4): 1659-1666	Journal Article
2	Nakagawa I, Park H, Kotsugi M, et al	脳神経外科	Diagnostic impact of monitoring transcranial motor-evoked potentials to prevent ischemic complications during endovascular treatment for intracranial aneurysms.	Neurosurg Rev. 2021 Jun; 44(3): 1493-1501	Journal Article
3	Takamura Y, Motoyama Y, Takatani T, et al	脳神経外科	Motor evoked potential monitoring can evaluate ischemic tolerance to carotid artery occlusion during surgery.	J Clin Monit Comput. 2021 Oct; 35(5): 1055-1062	Journal Article
4	Yamauchi M, Nakayama H, Shiota S, et al	呼吸器内科	Potential patient screening for late-onset Pompe disease in suspected sleep apnea: a rationale and study design for a Prospective Multicenter Observational Cohort Study in Japan (PSSAP-J Study).	Sleep Breath. 2021 Jun; 25(2): 695-704	Journal Article
5	Shigematsu H, Yoshida G, Kobayashi K, et al	整形外科	Understanding the effect of non-surgical factors in a transcranial motor-evoked potential alert: A retrospective cohort study.	J Orthop Sci. 2021 Sep; 26(5): 739-743	Journal Article
6	Yamanaka N, Tsukamoto S, Ishida Y, et al	リハビリテーション科	Clinical questions on rehabilitation in cancer patients with skeletal metastasis: a content analysis of the multidisciplinary tumor board records.	Support Care Cancer. 2021 Apr; 29(4): 2015-2020	Journal Article
7	Fukuoka K, Koyama F, Kuge H, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	A combination of subcuticular sutures and subcutaneous closed-suction drainage reduces the risk of incisional surgical site infection in loop ileostomy closure.	Surg Today. 2021 Apr; 51(4): 605-611	Journal Article
8	Shigematsu H, Wada M, Miyata S, et al	整形外科	Can the loco-check be used as a self-check tool for evaluating fall risk among older subjects? A prospective study.	J Orthop Sci. 2021 Sep; 26(5): 891-895	Journal Article
9	Hasukawa A, Mochizuki R, Sakamoto H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Surgical effects of type-I thyroplasty and fat injection laryngoplasty on voice recovery.	Auris Nasus Larynx. 2021 Apr; 48(2): 302-309	Journal Article
10	Nakamura Y, Hokuto D, Koyama F, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	The prognosis and recurrence pattern of right- and left- sided colon cancer in Stage II, Stage III, and liver metastasis after curative resection.	Ann Coloproctol. 2021 Oct; 37(5): 326-336	Journal Article
11	Mabuchi S, Niuro E, Nagayasu M,	産婦人科	The Development of a New Uterine Manipulation Method during Minimally Invasive Radical Hysterectomy.	J Minim Invasive Gynecol. 2021 May; 28(5): 1000-1005	Journal Article
12	Migita K, Matsumoto S, Wakatsuki K, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Effect of Oral Nutritional Supplementation on the Prognostic Nutritional Index in Gastric Cancer Patients.	Nutr Cancer. 2021 Nov; 73(11-12): 2420-2427	Journal Article
13	Nishikawa D, Wada Y, Shiozaki T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Patients with vertigo/dizziness of unknown origin during follow-ups by general otolaryngologists at outpatient town clinic.	Auris Nasus Larynx. 2021 Jun; 48(3): 400-407	Journal Article
14	Ichihashi S, Takahara M, Fujimura N, et al	放射線・核医学科	Changes in Skin Perfusion Pressure After Endovascular Treatment for Chronic Limb-Threatening Ischemia.	J Endovasc Ther. 2021 Apr; 28(2): 208-214	Journal Article
15	Yokotani T, Ikeda N, Hirao T, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Predictive value of tumor-infiltrating lymphocytes for pathological response to neoadjuvant chemotherapy in breast cancer patients with axillary lymph node metastasis.	Surg Today. 2021 Apr; 51(4): 595-604	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
16	Ueda N, Nakashima C, Aoki K, et al	歯科口腔外科	Does inflammatory dental disease affect the development of medication-related osteonecrosis of the jaw in patients using high-dose bone-modifying agents?	Clin Oral Investig. 2021 May; 25(5): 3087-3093	Journal Article
17	Kawai N, Kawaguchi T, Nakai T, et al	心臓血管外科	Status of pleural lavage cytology in cases of pulmonary metastasis: a single-institution retrospective study.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Apr; 69(4): 697-706	Journal Article
18	Yamatani Y, Munemoto M, Ando E, et al	中央放射線部	Sex differences in reference values of hip acetabular measurements using computed tomography in Japanese adults and the effect of aging on the measurement parameters.	J Orthop Sci. 2021 Nov; 26(6): 1029-1035	Journal Article
19	Shida A, Ida M, Ueda M, et al	歯科口腔外科	Preoperative underweight is associated with adverse postoperative events in patients undergoing microvascular reconstruction surgery for oral and maxillofacial cancer.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2021 May; 50(5): 598-603	Journal Article
20	Nakagawa I, Kotsugi M, Park HS, et al	脳神経外科	Near-infrared spectroscopy carotid plaque characteristics and cerebral embolism in carotid artery stenting using first-generation stent.	EuroIntervention. 2021 Sep; 17(7): 599-606	Journal Article
21	Nogi K, Soeda T, Hara M, et al	循環器内科	Functional assessment of intermediate coronary artery stenosis with 4-Fr catheters.	Heart Vessels. 2021 May; 36(5): 638-645	Journal Article
22	Matsuo Y, Sho M, Nomi T, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Clinical Importance of CD200 Expression in Colorectal Liver Metastasis.	Ann Surg Oncol. 2021 Sep; 28(9): 5362-5372	Journal Article
23	Bai D, Kurokawa H, Morita S, et al	リハビリテーション科	Ultrasonographic test for detecting the chiasma plantare formation between the flexor hallucis longus and flexor digitorum longus.	Surg Radiol Anat. 2021 Jul; 43(7): 1061-1065	Journal Article
24	Tsuruya K, Hayashi T, Yamamoto H, et al	腎臓内科	Renal prognoses by different target hemoglobin levels achieved by epoetin beta pegol dosing to chronic kidney disease patients with hyporesponsive anemia to erythropoiesis-stimulating agent: a multicenter open-label randomized controlled study.	Clin Exp Nephrol. 2021 May; 25(5): 456-466	Journal Article
25	Ueda N, Aoki K, Shimotsuji H, et al	歯科口腔外科	Oral risk factors associated with medication-related osteonecrosis of the jaw in patients with cancer.	J Bone Miner Metab. 2021 Jul; 39(4): 623-630	Journal Article
26	Yamamoto Y, Shigematsu H, Kawaguchi M, et al	整形外科	Tetanic stimulation of the peripheral nerve augments motor evoked potentials by re-exciting spinal anterior horn cells.	J Clin Monit Comput. 2022 Feb; 36(1): 259-270	Journal Article
27	Kawai N, Kawaguchi T, Yasukawa M, et al	心臓血管外科	Surgical treatment for secondary spontaneous pneumothorax: a risk factor analysis.	Surg Today. 2021 Jun; 51(6): 994-1000	Journal Article
28	Kyodo A, Watanabe M, Okamura A, et al	循環器内科	Post-Stent Optical Coherence Tomography Findings at Index Percutaneous Coronary Intervention - Characteristics Related to Subsequent Stent Thrombosis.	Circ J. 2021 May; 85(6): 857-866	Journal Article
29	Nakamura K, Sho M, Akahori T, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Clinical relevance of CD70 expression in resected pancreatic cancer: Prognostic value and therapeutic potential.	Pancreatol. 2021 Apr; 21(3): 573-580	Journal Article
30	Miyake M, Nakai Y, Nishimura N, et al	泌尿器科	Hexylaminolevulinatе-mediated fluorescent urine cytology with a novel automated detection technology for screening and surveillance of bladder cancer.	BJU Int. 2021 Aug; 128(2): 244-253	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
31	Furukawa M, Mitoro A, Ozutumi T, et al	中央内視鏡部	Efficacy of Underwater Endoscopic Mucosal Resection for Superficial Non-Ampullary Duodenal Epithelial Tumor.	Clin Endosc. 2021 May; 54(3): 371-378	Journal Article
32	Hasegawa H, Tsukamoto S, Honoki K, et al	整形外科	Soft-tissue reconstruction after soft-tissue sarcoma resection: the clinical outcomes of 24 patients.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2022 Jan; 32(1): 1-10	Journal Article
33	Iwasa Y, Koyama F, Marugami N, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	The middle rectal artery detected by contrast-enhanced magnetic resonance imaging predicts lateral lymph node metastasis in lower rectal cancer.	Int J Colorectal Dis. 2021 Aug; 36(8): 1677-1684	Journal Article
34	Okura H, Watanabe M, Miura A, et al	循環器内科	Comparison of quantitative measurements between two different intravascular ultrasound catheters and consoles: in vitro and in vivo studies.	Cardiovasc Interv Ther. 2022 Jan; 37(1): 109-115	Journal Article
35	Takeyama M, Furukawa S, Yada K, et al	小児科	Ex Vivo Prediction of Comprehensive Coagulation Potential Using Simulated Blood Concentrations of Emicizumab in Patients with Acquired Hemophilia A.	Thromb Haemost. 2021 Oct; 121(10): 1289-1298	Journal Article
36	Itami H, Fujii T, Nakai T, et al	病理診断科	TRAF7 mutations and immunohistochemical study of uterine adenomatoid tumor compared with malignant mesothelioma.	Hum Pathol. 2021 May; 111: 59-66	Journal Article
37	Nakagawa I, Park HS, Kotsugi M, et al	脳神経外科	Active management of the target P2Y12 reaction unit range in patients undergoing stent-assisted coil embolization for unruptured cerebral aneurysms.	J Neurointerv Surg. 2021 Nov; 13(11): 1017-1021	Journal Article
38	Yagyuu T, Yata S, Imada M, et al	歯科口腔外科	Risk factors for post-extraction bleeding in patients with haemophilia: a retrospective cohort study.	Br J Oral Maxillofac Surg. 2021 Apr; 59(3): 341-346	Journal Article
39	Onishi T, Omokawa S, Shimizu T, et al	整形外科	Impacted intraarticular fragments of distal radius fractures: A radiographic characterization and analysis of reliability and diagnostic accuracy.	J Orthop Sci. 2022 Mar; 27(2): 384-388	Journal Article
40	Miyamoto T, Miyake M, Toyoshima Y, et al	泌尿器科	Clinical outcomes after intravesical bacillus Calmette-Guérin for the highest-risk non-muscle-invasive bladder cancer newly defined in the Japanese Urological Association Guidelines 2019.	Int J Urol. 2021 Jul; 28(7): 720-726	Journal Article
41	Nakatani S, Ida M, Tanaka Y, et al	麻酔科	Translation and validation of the Japanese Version of the Quality of Recovery-15 Questionnaire.	J Anesth. 2021 Jun; 35(3): 426-433	Journal Article
42	Taniguchi A, Alejandro SF, Kane JM, et al	整形外科	Association of Cavovarus Foot Alignment With Peroneal Tendon Tears.	Foot Ankle Int. 2021 Jun; 42(6): 750-756	Journal Article
43	Yagyuu T, Funayama N, Imada M, et al	歯科口腔外科	Effect of smoking status and programmed death-ligand 1 expression on the microenvironment and malignant transformation of oral leukoplakia: A retrospective cohort study.	PLoS One. 2021 Apr; 16(4): e0250359(オンライン)	Journal Article
44	Okuda C, Inoue S, Kawaguchi M,	集中治療部	Anesthesia-related care dissatisfaction: a cohort historical study to reveal related risks.	Braz J Anesthesiol. 2021 Apr; 71(2): 103-109	Journal Article
45	Nishimoto M, Murashima M, Yoshida H, et al	腎臓内科	Impact of self-reported walking habit on slower decline in renal function among the general population in a longitudinal study: the Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study.	J Nephrol. 2021 Dec; 34(6): 1845-1853	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
46	Ueda T, Koyama F, Nakamoto T, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Endoscopic Features of Postoperative Anastomotic Lesions in Patients with Crohn's Disease Compared with Right-side Colon Cancer: Are Anastomotic Linear Superficial Ulcers Recurrent in Crohn's Disease?	J Anus Rectum Colon. 2021 Apr; 5(2): 158-166	Journal Article
47	Nakagawa I, Park H, Kotsugi M, et al	脳神経外科	Hypocapnia Induced by Hyperventilation with Indocyanine Green Kinetics Detects the Effect of Staged Carotid Angioplasty to Avoid Hyperperfusion in Patients with Impaired Cerebral Hemodynamic Reserve.	Transl Stroke Res. 2022 Feb; 13(1): 77-87	Journal Article
48	Bai D, Tokuda M, Ikemoto T, et al	リハビリテーション科	Effect of types of proximal femoral fractures on physical function such as lower limb function and Activities of Daily Living.	Phys Ther Res. 2021 Apr; 24(1): 24-28	Journal Article
49	Nakano T, Onoue K, Seno A, et al	循環器内科	Involvement of chronic inflammation via monocyte chemoattractant protein-1 in uraemic cardiomyopathy: a human biopsy study.	ESC Heart Fail. 2021 Aug; 8(4): 3156-3167	Journal Article
50	Matsubara S, Mabuchi S, Takeda Y, et al	産婦人科	Prognostic value of pre-treatment systemic immune-inflammation index in patients with endometrial cancer.	PLoS One. 2021 May; 16(5): e0248871(オンライン)	Journal Article
51	Shiozaki T, Ito T, Wada Y, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Effects of Vestibular Rehabilitation on Physical Activity and Subjective Dizziness in Patients With Chronic Peripheral Vestibular Disorders: A Six-Month Randomized Trial.	Front Neurol. 2021 Apr; 12: 656157(オンライン)	Journal Article
52	Naito Y, Kawanishi H, Kayashima M, et al	麻酔科	Current Status of Clinical Engineer Anesthesia Assistants and Their Effect on Labor Task Shifting in Japan: A Prospective Observational Study in a Single Institute.	JMA J. 2021 Apr; 4(2): 129-134	Journal Article
53	Nakatani S, Ida M, Wang X, et al	麻酔科	Oral 5-aminolevulinic acid administration prior to transurethral resection of bladder tumor causes intraoperative hypotension: Propensity score analysis.	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2021 Jun; 34: 102342(オンライン)	Journal Article
54	Iwai S, Watanabe M, Okamura A, et al	循環器内科	Prognostic Impact of Calcified Plaque Morphology After Drug Eluting Stent Implantation- An Optical Coherence Tomography Study.	Circ J. 2021 Oct; 85(11): 2019-2028	Journal Article
55	Sakai K, Fujimura Y, Miyata T, et al	輸血部	Current prophylactic plasma infusion protocols do not adequately prevent long-term cumulative organ damage in the Japanese congenital thrombotic thrombocytopenic purpura cohort.	Br J Haematol. 2021 Jul; 194(2): 444-452	Journal Article
56	Kataoka H, Sugie K,	脳神経内科	Association between Fatigue and Hoehn-Yahr Staging in Parkinson's Disease: Eight-Year Follow-Up Study.	Neurol Int. 2021 May; 13(2): 224-231	Journal Article
57	Miyake M, Nishimura N, Iida K, et al	泌尿器科	Intravesical Bacillus Calmette-Guérin Treatment for T1 High-Grade Non-Muscle Invasive Bladder Cancer with Divergent Differentiation or Variant Morphologies.	Cancers (Basel). 2021 May; 13(11): 2615(オンライン)	Journal Article
58	Nishimura T, Hosoi H, Sugiuchi T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Cartilage Conduction Hearing Aid Fitting in Clinical Practice.	J Am Acad Audiol. 2021 Jun; 32(6): 386-392	Journal Article
59	Imanaka S, Yamada Y, Kawahara N, et al	産婦人科	Validation of magnetic resonance relaxometry R2 value and cyst fluid iron level for diagnosis of ovarian endometrioma.	Redox Rep. 2021 Dec; 26(1): 105-110	Journal Article
60	Kawai Y, Konishi H, Miyazaki K, et al	救急科	A new quantitative assessment method for predicting pneumonia caused by chest wall injury.	J Trauma Acute Care Surg. 2021 Sep; 91(3): 521-526	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
61	Mabuchi S, Shimura K, Matsumoto Y,	産婦人科	The significance of post-radiotherapy parametrial involvement and the necessity of parametrial resection in locally-recurrent or persistent cervical cancer developed after radiotherapy.	J Gynecol Obstet Hum Reprod. 2021 Dec; 50(10): 102190(オンライン)	Journal Article
62	Masuda K, Shigematsu H, Tanaka M, et al	救急科	Comparison of Modified Marmot Surgery and Lumbar Spinous Process Splitting Laminectomy in Lumbar Spinal Stenosis: Two-Year Outcomes.	Spine Surg Relat Res. 2021 May; 5(3): 165-170	Journal Article
63	Kitamura S, Makinodan M, Matsuoka K, et al	精神科	Association of adverse childhood experiences and precuneus volume with intrusive reexperiencing in autism spectrum disorder.	Autism Res. 2021 Sep; 14(9): 1886-1895	Journal Article
64	Itami H, Nakamine H, Kubo M, et al	病理診断科	Diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL) with significant intravascular invasion. Close resemblance of its clinicopathological features to intravascular large B-cell lymphoma, but not to DLBCL-not otherwise specified.	J Clin Exp Hematop. 2021 Sep; 61(3): 152-161	Journal Article
65	Moriya K, Nishimura N, Namisaki T, et al	消化器・代謝内科	Zinc Administration and Improved Serum Markers of Hepatic Fibrosis in Patients with Autoimmune Hepatitis.	J Clin Med. 2021 Jun; 10(11): 2465(オンライン)	Journal Article
66	Akasaka S, Nishimura T, Hosoi H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Benefits of Cartilage Conduction Hearing Aids for Speech Perception in Unilateral Aural Atresia.	Audiol Res. 2021 Jun; 11(2): 284-290	Journal Article
67	Ito T, Inoue T, Inui H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Novel Magnetic Resonance Imaging-Based Method for Accurate Diagnosis of Meniere's Disease.	Front Surg. 2021 Jun; 8: 671624(オンライン)	Journal Article
68	Hirai K, Kawakami R, Nogi M, et al	循環器内科	Impact of Atrial Fibrillation on the Prognosis of Acute Decompensated Heart Failure With and Without Mitral Regurgitation.	Circ Rep. 2021 Jul; 3(7): 388-395	Journal Article
69	Muro S, Ishida M, Horie Y, et al	呼吸器内科	Machine Learning Methods for the Diagnosis of Chronic Obstructive Pulmonary Disease in Healthy Subjects: Retrospective Observational Cohort Study.	JMIR Med Inform. 2021 Jul; 9(7): e24796(オンライン)	Journal Article
70	Kobayashi H, Matsubara S, Imanaka S,	産婦人科	Clinicopathological features of different subtypes in adenomyosis: Focus on early lesions.	PLoS One. 2021 Jul; 16(7): e0254147(オンライン)	Journal Article
71	Masui T, Uemura H, Ota I, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A study of 24 cases of salivary gland carcinoma with distant metastasis.	Mol Clin Oncol. 2021 Sep; 15(3): 183(オンライン)	Journal Article
72	Uematsu T, Torimoto K, Tanaka N, et al	泌尿器科	Factors affecting urinary frequency after low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer.	Low Urin Tract Symptoms. 2022 Jan; 14(1): 4-9	Journal Article
73	Kayashima M, Sakai K, Harada K, et al	輸血部	Strong association between insufficient plasma exchange and fatal outcomes in Japanese patients with immune-mediated thrombotic thrombocytopenic purpura.	Int J Hematol. 2021 Oct; 114(4): 415-423	Journal Article
74	Tsukamoto S, Righi A, Mavrogenis AF, et al	整形外科	Late Local Recurrence of Bone Giant Cell Tumors Associated with an Increased Risk for Malignant Transformation.	Cancers (Basel). 2021 Jul; 13(14): 3644(オンライン)	Journal Article
75	Kawaratani H, Sawai H, Onishi M, et al	消化器・代謝内科	A genome-wide association study identifying SVEP1 variant as a predictor of response to tolvaptan for cirrhotic ascites.	Liver Int. 2021 Dec; 41(12): 2944-2953	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
76	Nakai Y, Tanaka N, Fujii T, et al	泌尿器科	Trends in risk classification at diagnosis and choice of primary therapy for prostate cancer: An analysis of 107・839 patients from the Nara Urological Research and Treatment Group registry between 2004 and 2015.	Int J Urol. 2021 Nov; 28(11): 1164-1170	Journal Article
77	Shibamoto A, Namisaki T, Suzuki J, et al	消化器・代謝内科	Clinical Significance of Gamma-Glutamyltranspeptidase Combined with Carbohydrate-Deficient Transferrin for the Assessment of Excessive Alcohol Consumption in Patients with Alcoholic Cirrhosis.	Medicines (Basel). 2021 Jul; 8(7): 39(オンライン)	Journal Article
78	Kawahara N, Miyake R, Yamataka S, et al	産婦人科	A Novel Predictive Tool for Discriminating Endometriosis Associated Ovarian Cancer from Ovarian Endometrioma: The R2 Predictive Index.	Cancers (Basel). 2021 Jul; 13(15): 3829(オンライン)	Journal Article
79	Nogi K, Kawakami R, Ueda T, et al	心臓血管外科	Prognostic Value of Fractional Excretion of Urea Nitrogen at Discharge in Acute Decompensated Heart Failure.	J Am Heart Assoc. 2021 Aug; 10(16): e020480(オンライン)	Journal Article
80	Yamauchi T, Makinodan M, Toritsuka M, et al	精神科	Tumor necrosis factor- $\alpha$ expression aberration of M1/M2 macrophages in adult high-functioning autism spectrum disorder.	Autism Res. 2021 Nov; 14(11): 2330-2341	Journal Article
81	Kosugi T, Eriguchi M, Yoshida H, et al	腎臓内科	Association between chronic kidney disease and new-onset dyslipidemia: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) study.	Atherosclerosis. 2021 Sep; 332: 24-32	Journal Article
82	Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, et al	眼科	Lower Cognitive Function in Patients With Functionally and Structurally Severe Glaucoma: The LIGHT Study.	J Glaucoma. 2021 Oct; 30(10): 882-886	Journal Article
83	Miyake M, Nishimura N, Oda Y, et al	泌尿器科	Intravesical Bacillus Calmette-Guerin treatment-induced sleep quality deterioration in patients with non-muscle invasive bladder cancer: functional outcome assessment based on a questionnaire survey and actigraphy.	Support Care Cancer. 2022 Jan; 30(1): 887-895	Journal Article
84	Kamitani F, Nishioka Y, Noda T, et al	糖尿病・内分泌内科	Incidence of lower limb amputation in people with and without diabetes: a nationwide 5-year cohort study in Japan.	BMJ Open. 2021 Aug; 11(8): e048436(オンライン)	Journal Article
85	Fujita Y, Yamauchi M, Yoshikawa M, et al	呼吸器内科	Resting Breathing Instability During Wakefulness as a Predictor of Clinical Outcome in COPD.	Respir Care. 2021 Sep; 66(9): 1477-1484	Journal Article
86	Kotani T, Inoue S, Uemura K, et al	増井	Radiating pain during epidural needle insertion and catheter placement cannot be associated with postoperative persistent paresthesia: a retrospective review.	JA Clin Rep. 2021 Aug; 7(1): 64(オンライン)	Journal Article
87	Matsui M, Tsuruya K, Yoshida H, et al	腎臓内科	Trace proteinuria as a risk factor for cancer death in a general population.	Sci Rep. 2021 Aug; 11(1): 16890(オンライン)	Journal Article
88	Kyodo A, Soeda T, Okamura A, et al	循環器内科	Clinical Impact of Irregular Protrusion Angle After Coronary Stenting at Culprit Lesions With ST-Elevation Myocardial Infarction 縲- An Intravascular Optical Coherence Tomography Study.	Circ Rep. 2021 Aug; 3(8): 431-439	Journal Article
89	Ueda T, Kasama S, Yamamoto M, et al	循環器内科	Effect of the Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitor Canagliflozin for Heart Failure With Preserved Ejection Fraction in Patients With Type 2 Diabetes.	Circ Rep. 2021 Aug; 3(8): 440-448	Journal Article
90	Tsuruya K, Arima H, Iseki K, et al	腎臓内科	Association of dialysis-related amyloidosis with lower quality of life in patients undergoing hemodialysis for more than 10 years: The Kyushu Dialysis-Related Amyloidosis Study.	PLoS One. 2021 Aug; 16(8): e0256421(オンライン)	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
91	Fujiwara A, Watanabe K, Ida M, et al	麻酔科	The short-term effect of COVID-19 pandemic on disability, pain intensity, psychological status, and exercise habits in patients with chronic pain.	J Anesth. 2021 Dec; 35(6): 862-869	Journal Article
92	Yoshii Y, Okazaki S, Takeda M,	腫瘍内科	Current Status of Next-Generation Sequencing-Based Cancer Genome Profiling Tests in Japan and Prospects for Liquid Biopsy.	Life (Basel). 2021 Aug; 11(8): 796(オンライン)	Journal Article
93	Tomiwa K, Tanaka Y, Kurokawa H, et al	整形外科	Simulated weightbearing computed tomography for verification of radiographic staging of varus ankle osteoarthritis: a cross-sectional study.	BMC Musculoskelet Disord. 2021 Aug; 22(1): 737(オンライン)	Journal Article
94	Obara S, Koyama F, Kuge H, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Effect of preoperative asymptomatic renal dysfunction on the clinical course after colectomy for colon cancer.	Surg Today. 2022 Jan; 52(1): 106-113	Journal Article
95	Kataoka H, Sugie K,	脳神経内科	Health-Related Quality of Life May Predict Disease Staging in 10 Years in Parkinson Disease With Hoehn-Yahr Stage III.	Neurol Clin Pract. 2021 Jun; 11(3): e261-e266	Journal Article
96	Toritsuka M, Yoshino H, Makinodan M, et al	精神科	Developmental dysregulation of excitatory-to-inhibitory GABA-polarity switch may underlie schizophrenia pathology: A monozygotic-twin discordant case analysis in human iPSC cell-derived neurons.	Neurochem Int. 2021 Nov; 150: 105179(オンライン)	Journal Article
97	Sato S, Namisaki T, Murata K, et al	消化器・代謝内科	The association between sarcopenia and endotoxin in patients with alcoholic cirrhosis.	Medicine (Baltimore). 2021 Sep; 100(36): e27212(オンライン)	Journal Article
98	Yamada Y, Mabuchi S, Kawahara N, et al	産婦人科	Prognostic significance of tumor laterality in advanced ovarian cancer.	Obstet Gynecol Sci. 2021 Nov; 64(6): 524-531	Journal Article
99	Kuwata H, Nishioka Y, Noda T, et al	糖尿病・内分泌内科	Association between dipeptidyl peptidase-4 inhibitors and increased risk for bullous pemphigoid within 3 months from first use: A 5-year population-based cohort study using the Japanese National Database.	J Diabetes Investig. 2022 Mar; 13(3): 460-467	Journal Article
100	Torimoto K, Matsushita C, Itami Y, et al	泌尿器科	Assessment of bladder function for stabilizing urinary volume overnight with recording of brain waves (ABSORB study).	Low Urin Tract Symptoms. 2022 Jan; 14(1): 72-77	Journal Article
101	Kinugawa K, Mano T, Sugie K,	脳神経内科	Neuronal Dynamics of Pain in Parkinson's Disease.	Brain Sci. 2021 Sep; 11(9): 1224(オンライン)	Journal Article
102	Nakamoto T, Koyama F, Kuge H, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	In vitro analysis of exfoliated tumor cells in intraluminal lavage samples after colorectal endoscopic submucosal dissection.	Int J Colorectal Dis. 2022 Jan; 37(1): 161-170	Journal Article
103	Aoki K, Momose H, Gotoh D, et al	泌尿器科	Video-urodynamic effects of vibegron, a new selective $\alpha_3$ -adrenoceptor agonist, on antimuscarinic-resistant neurogenic bladder dysfunction in patients with spina bifida.	Int J Urol. 2022 Jan; 29(1): 76-81	Journal Article
104	Kitagawa K, Mitoro A, Ozutsumi T, et al	消化器・代謝内科	Comparison of the efficacy and safety between palliative biliary stent placement and duct clearance among elderly patients with choledocholithiasis: a propensity score-matched analysis.	BMC Gastroenterol. 2021 Oct; 21(1): 369(オンライン)	Journal Article
105	Morimoto T, Nakazawa T, Matsuda R, et al	脳神経外科	Evaluation of Comprehensive Gene Expression and NK Cell-Mediated Killing in Glioblastoma Cell Line-Derived Spheroids.	Cancers (Basel). 2021 Sep; 13(19): 4896(オンライン)	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
106	Imanaka S, Shigetomi H, Kawahara N, et al	産婦人科	Clinicopathological characteristics and imaging findings to identify adenomyosis-related symptoms.	Reprod Med Biol. 2021 Oct; 20(4): 435-443	Journal Article
107	Hori S, Aoki K, Tachibana A, et al	泌尿器科	Usefulness of clinical factors for diagnosing and differentiating types of testicular malposition in boys: A retrospective study.	Int J Urol. 2022 Jan; 29(1): 57-64	Journal Article
108	Kitahara T, Okayasu T, Ito T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endolymphatic Sac Drainage Surgery and Plasma Stress Hormone Vasopressin Levels in Meniere's Disease.	Front Neurol. 2021 Sep; 12: 722217(オンライン)	Journal Article
109	Nishimoto M, Murashima M, Kokubu M, et al	腎臓内科	External Validation of a Prediction Model for Acute Kidney Injury Following Noncardiac Surgery.	JAMA Netw Open. 2021 Oct; 4(10): e2127362(オンライン)	Journal Article
110	Sekita-Hatakeyama Y, Fujii T, Nishikawa T, et al	病理診断科	Evaluation and diagnostic value of next-generation sequencing analysis of residual liquid-based cytology specimens of pancreatic masses.	Cancer Cytopathol. 2022 Mar; 130(3): 202-214	Journal Article
111	Nakai Y, Tanaka N, Asakawa I, et al	泌尿器科	Erectile dysfunction and sexual quality of life in patients who underwent low-dose-rate brachytherapy alone for prostate cancer.	Andrologia. 2022 Feb; 54(1): e14288(オンライン)	Journal Article
112	Omae T, Ishikawa T, Nakajima Y, et al	小児科	Coagulation potential in pediatric patients with immunoglobulin A nephropathy.	Pediatr Int. 2022 Jan; 64(1): e15042(オンライン)	Journal Article
113	Shimizu T, Omokawa S, Kawamura K, et al	整形外科	Arthroscopic Lunate Excision Provides Excellent Outcomes for Low-Demand Patients with Advanced Kienbock's Disease.	Arthrosc Sports Med Rehabil. 2021 Oct; 3(5): e1387-e1394	Journal Article
114	Okura H, Nakada Y, Nogi M, et al	循環器内科	Prevalence of mitral annular calcification and its association with mitral valvular disease.	Echocardiography. 2021 Nov; 38(11): 1907-1912	Journal Article
115	Takeyama M, Sasai K, Matsumoto T, et al	小児科	Comprehensive blood coagulation potential in patients with acquired hemophilia A: retrospective analyses of plasma samples obtained from nationwide centers across Japan	Int J Hematol. 2022 Feb; 115(2): 163-172	Journal Article
116	Mitsui Y, Shinkuma S, Nakamura-Nishimura Y, et al	皮膚科	Serum Soluble OX40 as a Diagnostic and Prognostic Biomarker for Drug-Induced Hypersensitivity Syndrome/Drug Reaction with Eosinophilia and Systemic Symptoms.	J Allergy Clin Immunol Pract. 2022 Feb; 10(2): 558-565.e4	Journal Article
117	Owari T, Tanaka N, Nakai Y, et al	泌尿器科	Impact of neoadjuvant androgen deprivation therapy on postimplant prostate D90 and prostate volume after low-dose-rate brachytherapy for localized prostate cancer.	Int J Urol. 2022 Feb; 29(2): 143-151	Journal Article
118	Takaya H, Namisaki T, Takeda S, et al	消化器・代謝内科	The Combination of Albumin-Bilirubin Score and Prothrombin Time Is a Useful Tool for Predicting Liver Dysfunction after Transcatheter Arterial Chemoembolization in Child-Pugh Class A Patients with Hepatocellular Carcinoma within Up-to-Seven Criteria.	J Clin Med. 2021 Oct; 10(21): 4838(オンライン)	Journal Article
119	Yokoyama S, Tonomura R, Fukuba R, et al	先天性心疾患センター	Use of hydrocolloid dressing in infants requiring open chest management after cardiac surgery.	Surg Case Rep. 2021 Nov; 7(1): 247(オンライン)	Journal Article
120	Matsumura Y, Ito T, Yamanaka T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Posturographic Findings in Patients With Psychological Dizziness.	Neurologist. 2021 Nov; 27(1): 11-13	Journal Article

小計15件



番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
121	Tsukamoto S, Ali N, Mavrogenis AF, et al	整形外科	Intralesional nerve-sparing surgery versus non-surgical treatment for giant cell tumor of the sacrum.	BMC Musculoskelet Disord. 2021 Dec; 22(1): 1023(オンライン)	Journal Article
122	Sasaki S, Takeda M, Hirose T, et al	病理診断科	Correlation of MTAP Immunohistochemistry With CDKN2A Status Assessed by Fluorescence In Situ Hybridization and Clinicopathological Features in CNS WHO Grade 2 and 3 Meningiomas: A Single Center Cohort Study.	J Neuropathol Exp Neurol. 2022 Jan; 81(2): 117-126	Journal Article
123	Nishimura T, Hosoi H, Saito O, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Effect of transducer placements on thresholds in ears with an abnormal ear canal and severe conductive hearing loss.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2021 Dec; 6(6): 1429-1435	Journal Article
124	Matsuda R, Morimoto T, Tamamoto T, et al	脳神経外科	Salvage Surgical Resection after Linac-Based Stereotactic Radiosurgery for Newly Diagnosed Brain Metastasis.	Curr Oncol. 2021 Dec; 28(6): 5255-5265	Journal Article
125	Shimozato N, Namisaki T, Okano A, et al	消化器・代謝内科	Efficacy and Safety of Lenvatinib for Patients With Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Retrospective, Real-world Study Conducted in Japan.	Anticancer Res. 2022 Jan; 42(1): 173-183	Journal Article
126	Kondo Y, Honoki K, Kishi S, et al	整形外科	Endosialin/CD248 may be a potential therapeutic target to prevent the invasion and metastasis in osteosarcoma.	Oncol Lett. 2022 Feb; 23(2): 42(オンライン)	Journal Article
127	Nakagawa K, Sho M, Okada KI, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Surgical results of non-ampullary duodenal cancer: a nationwide survey in Japan.	J Gastroenterol. 2022 Feb; 57(2): 70-81	Journal Article
128	Miyake R, Yamada Y, Yamanaka S, et al	産婦人科	Tissue factor pathway inhibitor 2 as a serum marker for diagnosing asymptomatic venous thromboembolism in patients with epithelial ovarian cancer and positive D-dimer results.	Mol Clin Oncol. 2022 Feb; 16(2): 46(オンライン)	Journal Article
129	Kawai Y, Fukushima H, Asai H, et al	救急科	Significance of initial hemoglobin levels in severe trauma patients without prehospital fluid administration: a single-center study in Japan.	Trauma Surg Acute Care Open. 2021 Dec; 6(1): e000831(オンライン)	Journal Article
130	Kinugawa K, Mano T, Yamatani Y, et al	脳神経内科	Pain-Related Abnormal Neuronal Synchronization of the Nucleus Accumbens in Parkinson's Disease.	Brain Sci. 2022 Jan; 12(1): 84(オンライン)	Journal Article
131	Takaya H, Namisaki T, Matsumoto K, et al	消化器・代謝内科	Comparison of Ablation Area and Change in Functional Liver Reserve after Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma Using the arfa(アールファ) and VIVA(ヴィヴァ) Systems.	J Clin Med. 2022 Jan; 11(2): 434(オンライン)	Journal Article
132	Nakatani S, Ida M, Wang X, et al	麻酔科	Incidence and factors associated with postoperative delirium in patients undergoing transurethral resection of bladder tumor.	JA Clin Rep. 2022 Jan; 8(1): 6(オンライン)	Journal Article
133	Sugiura J, Soeda T, Kyodo A, et al	循環器内科	Clinical Course of Optical Coherence Tomography-Detected Lipid-Rich Coronary Plaque After Optimal Medical Therapy.	Circ Rep. 2022 Jan; 4(1): 29-37	Journal Article
134	Sasaki S, Nishihira K, Yamashita A, et al	病理診断科	Involvement of enhanced expression of classical complement C1q in atherosclerosis progression and plaque instability: C1q as an indicator of clinical outcome.	PLoS One. 2022 Jan; 17(1): e0262413(オンライン)	Journal Article
135	Yoneda A, Tanaka Y, Fujii H, et al	整形外科	Morphologic Analysis of Nonosseous Talocalcaneal Coalitions Using 3D Reconstruction.	Foot Ankle Orthop. 2021 Oct; 6(4): 24730114211039487(オンライン)	Journal Article

小計15件

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
136	Kurokawa H, Taniguchi A, Miyamoto T, et al	整形外科	The Relationship Between the Distal Tibial Fibular Syndesmosis and the Varus Deformity in Patients With Varus Ankle Osteoarthritis.	Foot Ankle Orthop. 2021 Oct; 6(4): 24730114211041111(オンライン)	Journal Article
137	Mano T,	リハビリテーション科	Application of Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation over the Dorsolateral Prefrontal Cortex in Alzheimer's Disease: A Pilot Study.	J Clin Med. 2022 Feb; 11(3): 798(オンライン)	Journal Article
138	Miyake M, Nishimura N, Shimizu T, et al	泌尿器科	Significant Improvement of Prognosis After the Advent of Immune Checkpoint Inhibitors in Patients with Advanced, Unresectable, or Metastatic Urothelial Carcinoma: A Propensity Score Matching and Inverse Probability of Treatment Weighting Analysis on Real-World Data.	Cancer Manag Res. 2022 Feb; 14: 623-635	Journal Article
139	Yano H, Nishida T, Sugiura J, et al	心臓血管外科	Incidence of epicardial connections between the right pulmonary vein carina and right atrium during catheter ablation of atrial fibrillation: A comparison between the conventional method and unipolar signal modification.	J Arrhythm. 2022 Feb; 38(1): 97-105	Journal Article
140	Izumi T, Nanaura H, Iguchi N, et al	脳神経内科	Serum Alkaline Phosphatase in Cryptogenic Stroke Cases with Active Cancer.	Intern Med. 2022 Mar; 61(5): 639-646	Journal Article
141	Kataoka H, Takatani T, Sugie K,	脳神経内科	Two-Channel Portable Biopotential Recording System Can Detect REM Sleep Behavioral Disorder: Validation Study with a Comparison of Polysomnography.	Parkinsons Dis. 2022 Mar; 2022: 1888682(オンライン)	Journal Article
142	Nakagawa I, Park H, Kotsugi M, et al	脳神経外科	Diagnostic Impact of Monitoring Visual Evoked Potentials to Prevent Visual Complications During Endovascular Treatment for Intracranial Aneurysm.	Front Neurol. 2022 Feb; 13: 761263(オンライン)	Journal Article
143	Mano T, Kinugawa K, Ozaki M, et al	脳神経内科	Neural synchronization analysis of electroencephalography coherence in patients with Parkinson's disease-related mild cognitive impairment.	Clin Park Relat Disord. 2022 Mar; 6: 100140(オンライン)	Journal Article
144	Kurata S, Inoue K, Shimizu T, et al	整形外科	Acromioclavicular joint instability on cross-body adduction view: the biomechanical effect of acromioclavicular and coracoclavicular ligaments sectioning.	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Mar; 23(1): 279(オンライン)	Journal Article
145	Kawaratani H, Kondo Y, Tatsumi R, et al	消化器・代謝内科	Long-Term Efficacy and Safety of Rifaximin in Japanese Patients with Hepatic Encephalopathy: A Multicenter Retrospective Study.	J Clin Med. 2022 Mar; 11(6): 1571(オンライン)	Journal Article
146	Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, et al	眼科	Association Between Postillumination Pupil Response and Glaucoma Severity: A Cross-Sectional Analysis of the LIGHT Study.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2022 Mar; 63(3): 24(オンライン)	Journal Article

小計11件  
/  
合計146  
件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
5	<p>「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  (出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)</p>				

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 委員会の構成、責務、審査とその判定、審査書類の準備と手続き、事務局業務について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 目的、適用範囲、利益相反管理委員会、自己申告書の提出、委員会における審査等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年21回
・ 研修の主な内容 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に準じて実施する研究に必要な倫理的課題等について（指針の概要、被検者保護、統計分析方法等）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科が総合的な臨床力を重視するとともにさまざまな専門医養成コースを準備しており、複数科連携プログラムも稼働している。このため各人がそれぞれのニーズに合わせてキャリアデザインを組むことが可能となっている。  
内科各科の連携は密接で内科合同カンファレンスを定期的を開催するとともに、総合内科専門医養成コースを設けている。  
さらに、附属病院として、緩和ケアを含むがん薬物療法および放射線治療に関する知識・技術を修得した総合的ながん専門医を養成するためのプログラムを策定し、「がん薬物療法専門医」養成コースも設けている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	70人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
斎藤 能彦	循環器内科	教授	41年	
室 繁郎	呼吸器・アレルギー・血液内科	教授	33年	
吉治 仁志	消化器・代謝内科	教授	35年	
杉江 和馬	脳神経内科	教授	27年	
庄 雅之	消化器外科・小児外科・乳腺外科	教授	31年	
中瀬 裕之	脳神経外科	教授	39年	
澤端 章好	心臓血管外科	病院教授	33年	
田中 康仁	整形外科	教授	38年	リウマチ科も兼ねる
川口 龍二	産婦人科	准教授	25年	
緒方 奈保子	眼科	教授	39年	
野上 恵嗣	小児科	教授	31年	
牧之段 学	精神科	准教授	20年	
浅田 秀夫	皮膚科	教授	38年	
藤本 清秀	泌尿器科	教授	35年	
北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	30年	内分泌外科も兼ねる
田中 利洋	放射線・核医学科	病院長	26年	
長谷川 正俊	放射線治療科	病院長	40年	
川口 昌彦	麻酔科	教授	34年	
西尾 健治	総合診療科	教授	40年	
桐田 忠昭	歯科口腔外科	教授	39年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
福島 英賢	救急科	教授	26年	
笠原 敬	感染制御内科	病院教授	23年	
桑原 理充	形成外科	病院教授	26年	
城戸 顕	リハビリテーション科	病院教授	31年	
大林 千穂	病理診断科	教授	39年	
澤端 章好	呼吸器外科	准教授	33年	
鶴屋 和彦	腎臓内科	教授	31年	
高橋 裕	糖尿病・内分泌内科	教授	24年	
武田 真幸	腫瘍内科	教授	21年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 吉川 公彦	
管理担当者氏名	経営企画課長 樋口 浩史、医療サービス課長 岩本 正彰、病院管理課長 奥田 稔、医療相談室長 久保 良佳	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課
		各科診療日誌	医療情報部
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
			<p>・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。</p> <p>・2007年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテは、病歴保管庫で保管している。なお最終来院日から10年未受診の患者の紙カルテは、診療科に確認の上、順次廃棄を行っている。</p> <p>また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。</p> <p>・診療録の院外への持ち出しについては診療録取扱内規により禁止されている。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	各診療科
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	実績なし
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療情報部 地域医療連携室
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部 経営企画課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室
			各種データ（又は帳冊）
			各種データ（又は帳冊）



		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理室	各種データ（又は帳冊）
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課及び生命倫理監理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課及び生命倫理監理室
		監査委員会の設置状況	病院管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全推進室
		職員研修の実施状況	医療安全推進室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進室
管理者が有する権限に関する状況	人事課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務広報課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 吉川 公彦	
閲覧担当者氏名	経営企画課長 樋口 浩史、医療サービス課長 岩本正彰、病院管理課長 奥田 稔、医療相談室長 久保 良佳	
閲覧の求めに応じる場所	各執務室	

閲覧の手続の概要  
「公立大学法人奈良県立医科大学個人情報取扱規程」を準用した開示(閲覧)手続による。  
(診療録等個人情報を含む場合)

1. 開示(閲覧)請求  
↓
2. 法人内部での決裁  
↓
3. 総合窓口(奈良県 総務部 法務文書課)への協議  
↓
4. 決定  
↓
5. 開示(閲覧)

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： 医療事故の予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対策など、本院における医療安全管理体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とする。 主な内容は、①医療安全管理体制の構築（医療安全管理委員会、医療安全推進室の設置、医療安全推進活動、患者相談窓口の設置等）、②院内報告制度の構築、③職員に対する安全教育・研修、④医療事故発生時の対応方法の確立、⑤医療事故の公表等。</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（☑・無）</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容： 医療安全推進室の活動報告及び審議等の承認。 主な内容①医療安全管理に関する重要案件の審議、②医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関する事、③医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関する事、④医療事故調査委員会の審議結果を受けた再発防止に向けての検討に関する事、⑤管理委員会で立案された改善策の実施並びに実施状況の調査及び見直し等。</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	e-ラーニングのみ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、e-ラーニングのみで常時受講することが可能。3テーマのうち2テーマ以上受講で受講完了。 「医療安全の主体は誰か？」 「高難度新規医療技術導入」 「インシデント報告」</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（☑・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>① 事故報告 院内報告制度を構築し、医療事故等発生時の対応方法を確立している。 具体的には、重大事案が発生したときはインシデントホットライン（24時間対応）で医療安全推進室に報告が入り、医療安全推進室は病院幹部の情報共有を図る。発生所属はその後、電子カルテ内のインシデント報告システムにより背景や経緯等詳細を報告。</li> <li>② その他 院内全部署あてに、医療機能評価機構が発行する「医療安全情報」を配布するとともに、医療安全推進室で医療安全管理に関する重要事項について「医療安全ニュース」を作成して配信。 また、インシデント・アクシデントのうち原因の究明が必要な課題や複数の所属が連携して取り組む必要があるものについては、分析・対策検討会議で関係所属と医療安全推進室が連携して原因を分析し、対策を立案、実行、検証、見直しを行っている。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>指針の主な内容：①院内感染対策に関する基本的考え方、②感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項、③院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針、④感染症の発生状況の報告に関する基本方針、⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針、⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針、⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針等、その他感染対策を推進するために必要な基本方針を記載している。</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の主な内容：病院長、感染症センター長、感染管理室長、看護部長、薬剤部長、中央臨床検査部長、病院経営部長、ICD、ICNなど職種横断的に構成しており、委員は21名。毎月1回開催している。また、耐性菌の検出状況や抗菌薬適正使用に係る活動内容及び使用量の状況報告、状況、針刺し事故事例や医療関連感染事例や、従業員に対する研修の実施状況などを報告している。医療関連感染事例の対応や本指針、感染対策に関するマニュアル等の制定・改廃の承認についての審議および意思決定を行っている。</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の内容（すべて）：職員に感染対策として周知・徹底したい知識や情報等をテーマとして、全職員対象に研修を実施している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からE-learningによる受講を推奨した。Office365のSharePointを活用し、感染対策関連のコンテンツは4種類、抗菌薬の適正使用に関する内容は2種類、合計6種類のコンテンツをアップロードした。受講対象となる職員には原則E-learningでの受講を推奨したが、インターネット環境が整っていない職種を対象に救済措置として動画視聴研修を（集合研修）開催した。未受講者をなくすために所属長、ICT委員宛に未受講者一覧を配布することで、年間2回以上受講するよう啓蒙を図り、未受講者は無く、全職員年間2回以上の受講を實踐できた。またこれとは別に、新規採用および中途採用職員には入職時に人事課と協働で研修会（動画視聴またはE-learningにて対応）を開催し、参加できない職員にはDVD貸出による研修を実施し、当院における感染対策に関する基礎知識の定着と感染対策の推進を行っている。</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>病院における発生状況の報告等の整備（有・無）</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容：病院長を含む病院運営協議会のメンバーを中心とした感染防止委員会（ICC委員会）および医師、看護師、コメディカル、事務等の各所属から代表者を選出して構成するICT委員会をそれぞれ月1回開催し、院内における感染症の発生状況やその対策について報告し、周知徹底を行っている。さらに、これらのメンバーを中心としたメーリングリストを作成し、「感染対策週報」として感染管理室長から毎週メールを配信することにより、当院における感染症発生状況を中心に、県内における感染症発生状況等の情報発信と情報共有を行っている。更に、感染管理室員による週2回の環境ラウンド（集中ラウンド・全病棟ラウンド）、抗菌薬ラウンド（毎日）、耐性菌ラウンド（耐性菌検出時）、ICTミーティング（毎日）、ASTミーティング（毎日）など様々な方策により感染対策および抗菌薬適正使用に係る、改善および推進に向けた取り組みを行っている。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ラーニング：R3年12月7日より、「麻薬の外用薬、入院と外来で入力方法の違いについて知っていますか」について</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 ( 有・無 )</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医師、看護師のリスクマネージャーに対し、各所属での手順実施状況を確認し薬剤部へ報告 薬剤部についても、まとめて確認を実施</p> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>視床下部 毛様細胞性星細胞腫に対するメキニスト錠の処方。 K I AA1549 BRAF 融合遺伝子陽性の患児。2021年8月19日に腫瘍摘出術施行後、同年8月30日よりメキニスト錠の処方開始、現在も継続中。 なお、「K I AA1549 BRAF 融合遺伝子を有する小児低悪性度グリオーマに対する MEK 阻害剤 トラメチニブ（商品名メキニスト）の使用について」は、2021年8月に小児科より申請があり、 適応外使用が院内で承認されている。</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>病棟担当薬剤師や調剤室の薬剤師から得られた情報や、医療サービス課からの査定情報、厚生労働省およびPMDAからの通知や医薬品安全情報などから情報を入手し、必要に応じて医薬品情報管理係よりDIニュース等で薬剤部から情報を発信する。また、未承認等の医薬品の使用の情報は、病棟薬剤師や調剤室から得たものは、医薬品情報管理係へ集まり、未承認等の医薬品の審査を所管する生命倫理監理室と情報を共有している。</p> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年52回 他にe-ラーニング
<p>・ 研修の主な内容： 1年間のWEB研修 「医療安全の主体は誰か？」 「高難度新規医療技術導入」 「インシデント報告」</p> <p>適宜、病棟・部署単位での勉強会の実施 合計52件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規・中途採用職員研修 5件</li> <li>2. 新規導入機器研修 29件</li> <li>3. 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる機器の研修             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 4件</li> <li>(2) 人工呼吸器 3件</li> <li>(3) 血液浄化装置 3件</li> <li>(4) 除細動装置（AEDを除く） 3件</li> <li>(5) 閉鎖式保育器 2件</li> <li>(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置 0件</li> <li>(7) 診療用粒子線照射装置 0件</li> <li>(8) 診療用放射線照射装置 3件</li> </ol> </li> <li>4 上記以外のもの研修 2件</li> </ol>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：人工心肺関連機器（補助循環装置）人工呼吸器、透析関連機器、除細動器（AED）、閉鎖式保育器、電気メス、麻酔器、高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置、CTエックス線装置（医用X線CT装置）磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）の定期点検の実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：医療安全推進室とともに、PMDAや日本医療機能評価機構・医療機器センターからの回収情報、インシデント情報、業者からの報告情報を収集し、院内職員への注意喚起、情報共有を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> <li>・ 医療安全管理部門：医療安全推進室から報告</li> <li>・ 医療安全管理委員会：同委員会の副委員長</li> <li>・ 医薬品安全管理責任者：医薬品安全管理会議を所管</li> <li>・ 医療機器安全管理責任者：特定機能病院における医療機器関連の保守点検の計画・実施の報告を行う。医療機器安全管理会議の報告をする。</li> </ul>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況              医薬品情報管理係にて、病棟薬剤師からの副作用等の情報を入手、医事データや電子カルテデータからは使用量や査定情報を入手、ヒヤリハット報告などの情報を取得し、必要に応じて医薬品情報管理係よりD I ニュース等で薬剤部から情報を発信する。</li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況              病棟薬剤師や調剤担当の薬剤師より情報を入手、未承認等の医薬品を使用された医師には生命倫理監理室に申請を促し、医薬品情報管理係に情報を集約。医薬品情報管理係は生命倫理監理室と情報を共有しているので、審査で可決されたものは病棟薬剤師や調剤係と情報共有する。</li> <li>・ 担当者の指名の有無 (有・無)</li> <li>・ 担当者の所属・職種：              (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ) (所属： ， 職種 )              (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )              (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )              (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：平成29年7月制定の「インフォームドコンセントマニュアル」で定めた方法により、説明・同意書が作成されているかの確認を、月1回開催している同意書等審議委員会において審議している。また、適切に実施されるよう医療従事者への指導等を実施した。</li> </ul>	



⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>【診療録の記載内容の確認】</p> <p>各診療科別に、任意に抽出した患者の診療録の内容をチェックリストに基づき点検を行い、点検結果を診療科にフィードバックした。</p> <p>【指導内容の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院初診記録のアレルギーについて、プロフィールへの入力だけでなく診療録にも聴取した内容を記載するよう促した</li> <li>・医学的以外の患者の問題記載なし</li> <li>・インフォームドコンセントでは、他の選択肢についての説明記録、同意書の患者からの質問と回答の記載、術後 IC の記載が少ないため、記載するよう促した。</li> </ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（7）名、専任（ ）名、兼任（2）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） 医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関すること。</li> <li>（2） 医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導に関すること。</li> <li>（3） 医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。</li> <li>（4） 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導に関すること。</li> <li>（5） 医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。</li> <li>（6） 医療事故等の改善策の実施状況の評価、再発防止に向けての検討に関すること。</li> <li>（7） 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。</li> <li>（8） 患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整に関すること。</li> <li>（9） リスクマネージャーによる医療安全推進活動に関すること。</li> <li>（10） 肺血栓塞栓症予防体制の確立に向けた活動に関すること。</li> <li>（11） 呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管に関すること。</li> <li>（12） 医薬品安全管理に関すること。</li> </ol>	

(13) 医療機器安全管理に関すること。

(14) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（17件）、及び許可件数（6件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：  
高度新規医療評価部が、高難度新規医療技術等の先進医療等の提供の適否を決定している。  
診療科から高難度新規医療技術等の先進医療等の提供実施の申請があった場合、同部は高難度新規医療技術評価委員会に諮問し、同委員会が倫理的・科学的な妥当性や本院で提供することの適切性等に関して評価を行い、その評価結果に基づき、同部が提供の適否等を決定している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（30件）、及び許可件数（20件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：  
高度新規医療評価部が、未承認新規医薬品等を用いた先進医療等の提供の適否を決定している。  
診療科から未承認新規医薬品等を用いた先進医療等の提供実施の申請があった場合、同部は未承認新規医薬品等技術評価委員会に諮問し、同委員会が倫理的・科学的な妥当性や本院で提供することの適切性等に関して評価を行い、その評価結果に基づき、同部が提供の適否等を決定している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 525 件（令和 3 年度）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 135 件（令和 3 年度）
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容  
インシデント、アクシデント報告のうち重大事案について概要及び所属カンファレンスで検討した改善方策について評価・審議し、審議結果を所属にフィードバック。更に、分析・対策検討会議からの再発防止策の立案、実行、検証、見直しに関する報告を評価・審議。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：三重大学）・無）（令和 3 年度）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：神戸大学）・無）（令和 3 年度）
- ・技術的助言の実施状況

令和 3 年度はコロナの影響で相互立ち入り調査が中止となり、書面審議のみとなりました。

令和 4 年度は、WEB で筑波大学から調査を受け、長崎大学を調査予定となっています。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
総合相談窓口（医療相談室 相談係）、患者・家族支援室

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
「医療安全の主体は誰か?」「高難度新規医療技術導入」「インシデント報告状況」の 3 テーマを設定し、COVID19 の感染対策のため e-ラーニング形式で開催。3 テーマのうち 2 テーマ以上を受講で受講完了。  
受講促進対策としては、第 3 四半期は月 1 回、第 4 四半期は月 2 回の頻度で所属長・リスクマネージャーあて未受講者に対する受講促進を依頼。端末の配備が十分ではないなど受講環境が整って

いない臨床研修センター所属の研修医や業務委託先の従業者に対して、各所属で集合研修を実施。しかしながら、受講対象者 2,527 人（前年度 2,437 人）に対して受講完了者 2,487 人（前年度 2,394 人）、受講完了率 98.4%（前年度 98.2%）、未受講者 40 人（前年度 43 人）となった。

未受講者 40 人のうち、臨床研修センターが 20 人と半数を占めており、今後は臨床研修センター所属の研修医に対する受講支援を検討。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

2021 年度受講なし

※2022 年度に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講予定

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

機能評価 2022 年 10 月 一般病院 3（3rdG：Ver2.0）受審

医療安全監査委員会（外部監査）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互のピアレビュー実施

・評価を踏まえ講じた措置

1 回目の委員会での指摘、助言に対して 2 回目の委員会で措置内容を報告

（注）記載時点の状況を記載すること

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修等修了医師であること</li> <li>2 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有していること</li> <li>3 人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること</li> <li>4 奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力と将来ビジョンを有すること</li> <li>5 組織管理能力等の当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること</li> <li>6 法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献できること</li> <li>7 医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること</li> <li>8 臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学Webサイトに掲載する方法により公表している。 奈良県立医科大学附属病院長選考基準 <a href="https://www.naramed-u.ac.jp/university/oshirase/reiwa1nedo/byouinchou_senkou_2022.html">https://www.naramed-u.ac.jp/university/oshirase/reiwa1nedo/byouinchou_senkou_2022.html</a></li> </ul>

## 規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学Webサイトに掲載する方法により公表している。</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長	選定理由	特別の関係
細井 裕司	奈良県立医科大学	○	充職	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
宇都宮 弘和	奈良県立医科大学		充職	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
中瀬 裕之	奈良県立医科大学		欠員補充 (理事長による指名)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
橋口 智子	奈良県立医科大学		充職	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
庄 雅之	奈良県立医科大学		充職	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
阪上 雅史	兵庫医科大学病院		大学病院管理経験者	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
山上 裕機	和歌山県立医科大学		大学病院管理経験者	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>合議体名称：病院運営協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 医療法施行規則（平成30年厚生労働省令第70号）第9条の23の規定にかかる特定機能病院の管理・運営に関する重要な事項及び病院経営・運営方針等院務に関する重要な事項</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 院内全所属の所属長が委員であるので、所属に持ち帰って周知を行う。 加えて、実務を担当している医局長が参加する医局長会でも、運営協議会での審議内容を議題とすることにより、広く周知を図っている。</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・公表の方法</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
吉川 公彦	○	医師	附属病院長
斎藤 能彦		医師	診療科部長
室 繁郎		医師	診療科部長
吉治 仁志		医師	診療科部長
笠原 敬		医師	診療科部長
杉江 和馬		医師	診療科部長
庄 雅之		医師	副院長・診療科部長
中瀬 裕之		医師	診療科部長
澤端 章好		医師	診療科部長
田中 康仁		医師	副院長・診療科部長
桐田 忠昭		医師	診療科部長
川口 龍二		医師	診療科部長代理
緒方 奈保子		医師	診療科部長

野上 恵嗣		医師	診療科部長
牧之段 学		医師	診療科部長代理
浅田 秀夫		医師	診療科部長
藤本 清秀		医師	診療科部長
北原 糺		医師	診療科部長
田中 利洋		医師	診療科部長
長谷川 正俊		医師	診療科部長
川口 昌彦		医師	診療科部長
福島 英賢		医師	診療科部長
西尾 健治		医師	副院長・診療科部長
桑原 理充		医師	診療科部長
城戸 顕		医師	診療科部長
大林 千穂		医師	診療科部長
鶴屋 和彦		医師	診療科部長
高橋 裕		医師	診療科部長
武田 真幸		医師	診療科部長
山崎 正晴		医師	中央診療施設の長
松本 雅則		医師	中央診療施設の長
美登路 昭		医師	中央診療施設の長
小山 文一		医師	中央診療施設の長
玉本 哲郎		医師	中央診療施設の長
西久保 敏也		医師	中央診療施設の長
四宮 敏章		医師	中央診療施設の長
上村 秀樹		医師	中央診療施設の長
平井 都始子		医師	中央診療施設の長
田中 忍		臨床検査技師	中央診療施設の長
西村 努		診療放射線技師	中央診療施設の長
畠中 利英		歯科技工士	中央診療施設の長
池田 和之		薬剤師	中央診療施設の長
橋口 智子		看護師	副院長・看護部長
吉川 雅則		医師	栄養管理部長

赤井 靖宏		医師	臨床研修センター長
笠原 正登		医師	臨床研究センター長
辰巳 満俊		医師	医療安全管理者
今村 知明		医師	法人特命企画官
宇都宮 弘和		事務	理事（総務・経営）
藤田 和成		事務	事務長
樋口 浩史		事務	課長
奥田 稔		事務	課長
鶴谷 幸彦		事務	課長
久保 良佳		事務	室長
上野 聡		事務	課長
鷹堅 覚		事務	課長
廣田 雅彦		事務	課長
吉村 雅則		事務	室長



## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法  
外部には公表せず、学内専用サイトに掲載して従業者が確認できるように周知している。
- ・ 規程の主な内容  
**奈良県立医科大学附属病院長職務規程**  
(職務権限)  
第2条 附属病院長は、次の各号に定める職務を行う。  
(1) 病院の経営に関すること  
(2) 病院の管理運営に関すること  
(3) 病院の人事に関し、理事長に上申すること  
(4) 病院職員の資質向上のために必要な研修に関すること  
2 附属病院長は、病院における全ての業務を総括し、その責任を有する。  
  
**公立大学法人奈良県立医科大学会計規程施行細則**  
2 理事長の事務の委任（規程第3条関係） 理事長の事務の委任を受ける者  
範囲及び権限は別表1のとおりとする。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
**副院長**  
病院長の補佐  
**事務長**  
病院長の下、病院事務を統括  
**院長ガバナンス支援タスクフォース**  
関係部署による病院長ガバナンス強化のサポート
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
診療情報管理士の資格取得の支援  
法人職員の県派遣実務研修の実施

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：医療安全管理に係る事項を監査し、是正措置を講ずるよう意見具申を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・ 公表の方法：本学ホームページにおいて一般に公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進室長であり、医療にかかる安全に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験が豊富であり、法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
松井 忠昭	ボランティアグループ		病院の状況への理解が深く、医療を受ける側の立場からの客観的意見を得られるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
  
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  )
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体名称：役員会</li> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 役員会では、附属病院の予算決算等の管理運営に関する審議事項があり、理事長（開設者）が病院業務に参与して監督している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年37回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年37回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 本学ホームページにおいて一般に公開</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年0件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 本学ホームページにおいて一般に公開</li></ul>